

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に適切、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	利用児童の特性に応じた視覚支援や発達に応じた環境設定に努めております。 現在、車椅子の利用児童はいませんが、トイレに行く通路が狭く、玄関に段差があるため、安全面に留意しながら支援をおこなっております。	当事業所は、テナントであるために完全なバリアフリーにするのは難しいですが、支援が必要な児童には職員が安全に留意しながら支援をおこなってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日サービス提供後に清掃をおこなっており、心地よく過ごせるよう環境を整えております。 また集団活動や個別活動等、その日の活動や児童の様子に合わせて机の配置を変更して空間を整えております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		部屋が3つに分かれているため、その日の利用児童の様子に合わせて個室を利用し、落ち着いて過ごせるよう配慮しております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8		定期的なリフレクシオン会議をおこない、職員が意見を話し合う機会を設けております。 会議の内容は議事録を作成し、情報共有に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケートのご意見やご要望に関しては、職員間で情報共有し、迅速に対応できるよう心がけております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		業務開始に合わせて、一日の流れや療育内容の確認を職員全員でおこなっております。 また、月に1回リフレクシオン会議を実施し、業務内容や療育の質向上に向けて意見交換をおこなっております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		本社配属の動画による社内研修のほか、法定で定められた研修に関しても計画的に実施しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		児童発達支援計画を作成する際には、日頃から利用児童の様子を情報共有する時間を作り、モニタリング前にも改めて職員間で利用児童の成長や課題について話し合っております。 児童発達支援管理責任者を中心に会議をおこない、どのような支援をおこなうべきか検討しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日頃から利用児童の様子を情報共有する時間を作り、モニタリング前にも改めて職員間で利用児童の成長や課題について話し合っております。 児童発達支援計画を作成する際には児童発達支援管理を中心に会議をおこない、どのような支援をおこなうべきか検討しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		児童発達支援計画の内容をもとに、各児童の療育プログラムを設定しております。 また、支援計画、支援内容等をすべての職員に共有するための打ち合わせをおこない、目標に合わせた支援を提供しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたアセスメントツールを使用し、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況をもちろなく聞き取るよう努めております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらわら支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインを踏まえたうえで、保護者様のご意向を取り入れ、個々に合った支援計画を作成しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		児童発達支援計画や、専門的支援実施計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。 その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・よりよい支援提供に努めております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		基本プログラムを軸に、四季に応じた製作やイベント、運動遊び等、個別活動や集団活動を組み合わせたながら楽しく意欲的に活動ができるように工夫しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を活動し、支援が行われているか。	8		個別活動や社会性を育むため集団活動も組み合わせながら支援計画を作成しております。 利用児童の特性に応じて、無理なく参加できるような支援方法を検討しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日のスケジュールや職員配置、役割分担を把握できるように打ち合わせをしたうえで可視化して、共通認識を持って支援にあたるよう情報共有をおこなっております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		記録作成時などに気付きや療育内容についての相談など職員間で話し合いをしております。 重要事項については適宜ミーティングを開き、情報共有しております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の支援内容は必ず記録に残しております。 また、支援をおこなう前に必ず以前の記録に目を通し、様子の詳細や疑問点を職員同士で話し、児童の実態を把握してから支援に臨んでおります。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングをおこない、児童の成長や変化、保護者様のご意向に沿った計画を作成できるよう、見直しをおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8		児童発達支援管理責任者や管理者が参加しております。	
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて、情報共有、相互理解を図り、より良い支援につなげるよう努めております。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		相談支援を中心としたインクルージョン推進の観点から支援をおこなっております。 また、よりよい支援を提供できるよう、情報共有と相互理解をはかっております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		相談支援を中心とした連携をおこない、支援内容の情報共有と相互理解を図り、就学後とつなげられるよう努めております。	
	28 (28～30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		児童発達支援センターに通っている利用児童の今後、必要に応じて連携を図っていききたいと思っております。	
保護者への説明等	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		個人情報の関係もあり、活動する機会が実現できていませんが、保護者様のご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳を通して療育の様子をお伝えし、療育や療育支援に関心を持っていただいております。 保護者様とのこまめな情報共有で共通理解を図り、よりよい支援につなげるよう努めてまいります。	
	34 家族の対応力や向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	保護者様からの相談に対して、児童の様子を見ながら、適切なアドバイスができるよう努めております。 また児童の発達段階から保護者様に提案やアドバイスもできるように努めてまいります。	今後も保護者様の対応力向上を図り、保護者様のニーズに応えたいけるよう、寄り添った支援をおこなってまいります。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時には、支援内容や、利用者負担等について、分かりやすく丁寧な説明を心がけております。 また保護者様から質問があった際には、その都度説明に努めてまいります。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別支援計画の作成前に、モニタリングを実施しております。 定期的な保護者様との面談により、利用児童の状況や課題を確認し支援計画に反映しております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		児童発達支援計画の同意をいただく際には、丁寧かつ分かりやすい言葉で説明できるよう心がけております。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的に保護者様との面談をおこない、子育てに関するお悩みやご相談をうかがっております。 必要に応じて助言や支援をおこない、保護者様に寄り添った対応に努めてまいります。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できていませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に対して、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるよう配慮しております。 苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
	41 定期的に通信等を送付することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		季節ごとのCOMPASSだよりや、毎月の事業所だよりを発行し、公式Webサイトで、最新情報のほか、事業所の活動が毎日ブログで紹介されております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		一人ひとりの特性に応じて、口頭だけでなく、絵カードや書面を提示するなど的手段を活用して、情報伝達に配慮しております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		現時点では、地域の方を招待するなどの交流は積極的に企画するまでには至っておりません。	個人情報の観点から、保護者様のご意向に沿って慎重かつ十分な配慮のうえ、検討してまいります。
非常時等の対応	45 事故対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定するとともに事業所内に掲示し、定期的な訓練も実施しております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、定期的に地震・火災・風水害を想定し訓練を実施しております。	
	47 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に必ず確認をおこない、緊急時には全職員が適切に対応が出来るよう共通理解を図っております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に保護者様より聞き取りを行い、全職員で情報を共有し、対応しております。 現在、医師の診断書はいただくような重篤なアレルギーの利用児童の在籍はありませんが、今後も保護者様や職員と情報共有し細心の注意を払いながら、対応してまいります。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を全職員が周知できるよう、会社が作成した研修や訓練をおこない、万が一の際には安全計画に沿って行動できるよう努めてまいります。	
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		契約時や昨年、災害が増えているため、定期的に保護者様に安全確保について話しをするよう心がけております。 また、事業所内に各種マニュアルや対策を掲示しております。		
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8		ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有をおこない、事例をもとに再発防止に努めております。		
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置し、虐待防止についての研修、身体拘束適正化についての研修を全職員が受けております。		
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		利用契約書には、原則として身体拘束はおこなわない旨を記載しております。やむを得ず必要となる場合は、事前に十分な説明をおこない、保護者様の承諾を得たうえで、児童発達支援計画に記載し、適切に対応してまいります。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。